

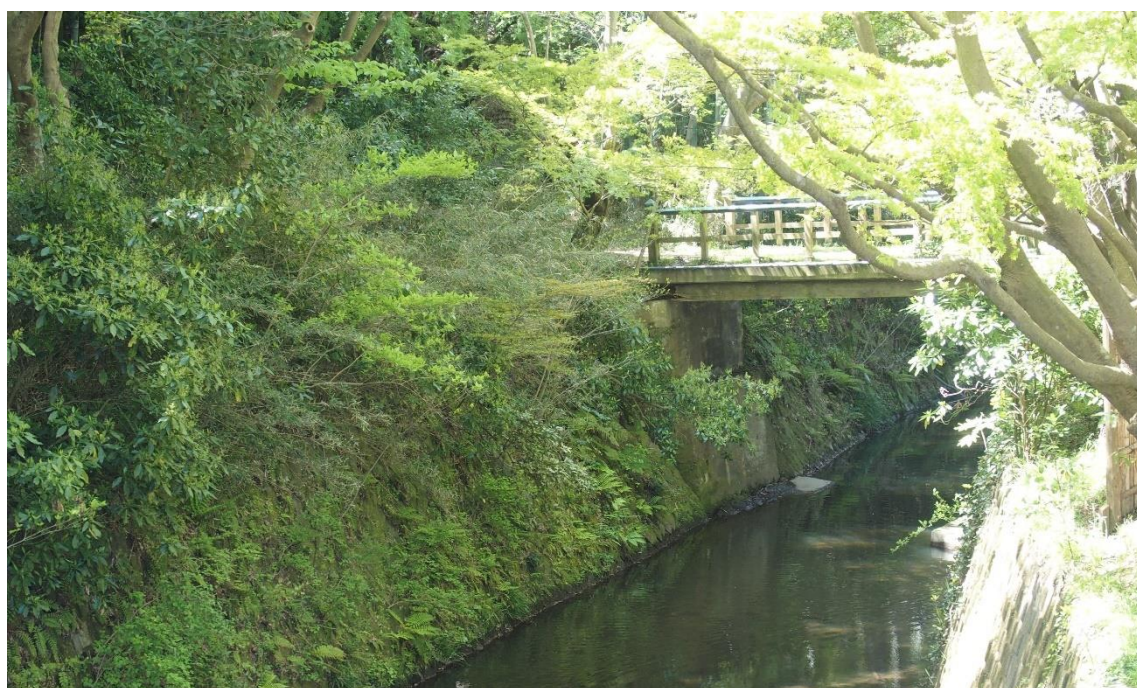
令和2年度



葉山町社会福祉協議会

事業計画書

Hayamashakyo 2020



社会福祉法人

葉山町社会福祉協議会

住 所： 葉山町堀内2220

TEL:046-875-9889

FAX:046-876-1873

<http://www.hayamashakyo.com/>

令和2年度の重点的な取り組み

葉山町社会福祉協議会の使命

年齢や障害のあるなしに関わらず「生きづらさ」を感じている人が、いつまでも「地域の一員」として暮らし続けられるよう、一人ひとりの生活問題を原点にしながら、本人の強み、日常生活圏域を基本に地域のあらゆる資源を活用し、資源がなければ住民と共に作りあげる。本人の自立支援と福祉のまちづくりを一体的にすすめてまいります。

令和2年度の運営方針

急速に進行する少子・高齢化を背景に、今後の社会福祉のあり方として、誰もがそれぞれに役割をもちながら主体的に地域に参加していく「地域共生社会」の実現が地域福祉の理念として掲げられ、地域共生社会実現に向けて「我が事・丸ごと」という考え方が示されました。とくに「丸ごと」として、制度の隙間に陥ってしまう、また既存の制度では対応が困難な課題を有する人びとに対する総合的、包括的な支援が重視されています。

こうした地域共生社会づくりのために、身近な圏域において分野を超えて地域生活課題について総合的に相談に応じ、関係機関が連絡調整等を行う体制づくり、また複合化した地域生活課題を解決するための体制づくりが急務となっています。また、地域住民等が身近な圏域において、主体的に生活課題を把握し、解決に取り組むことも期待されています。

現実の地域に目を向けると、種々の課題を抱えながら、社会的に孤立し、適切な支援につながっていない人が数多く存在しており、人びとの生活の安心が揺らいでいるといえます。もちろん、介護・障害・子育て・生活困窮などの制度創設やその見直しなど公的施策の整備によるセーフティネット制度の充実も図られてきています。しかし、現に発生している多くの事例は、地域の安全・安心を支えるセーフティネット機能が十分ではないことを表しており、地域共生社会実現のためには、なによりも身近な地域での人と人とのつながりそのものが生活を支えるセーフティネット機能の基盤と言っても過言ではなく、その強化が必要といえます。

このような状況において、本会の総合相談では断らない相談を入口に公的施策の利用促進に加え、多様な主体と連携して生活課題の解決に向けて取り組むとともに、地域住民等が主体的に取り組む生活課題の解決に向けて専門職としての伴走的な支援と小地域福祉活動推進組織や第2層協議体と連携し、既存の地域のつながりや支え合いの関係性を十分に尊重したうえで、住民の主体性を中心とした地域づくりのための活動を支援してまいります。

<重点的な取り組み>

法人運営部門

- 地域から信頼される社協となるために、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等に努めます。
- 資産の効率運用等による安定的な事業財源確保を行います。

住民福祉センター部門

- 断らない総合相談を窓口、専門職としてあらゆる生活相談や活動相談の解決に向け取り組みます。

- 介護保険「生活支援体制整備事業」第2層協議体を新たに2地区設置し、町内全域8地区での運営を行い、住民主体の取り組みを支援します。
- 小地域福祉活動推進方針の見直しを行うため、新たに部会を設置し検討します。

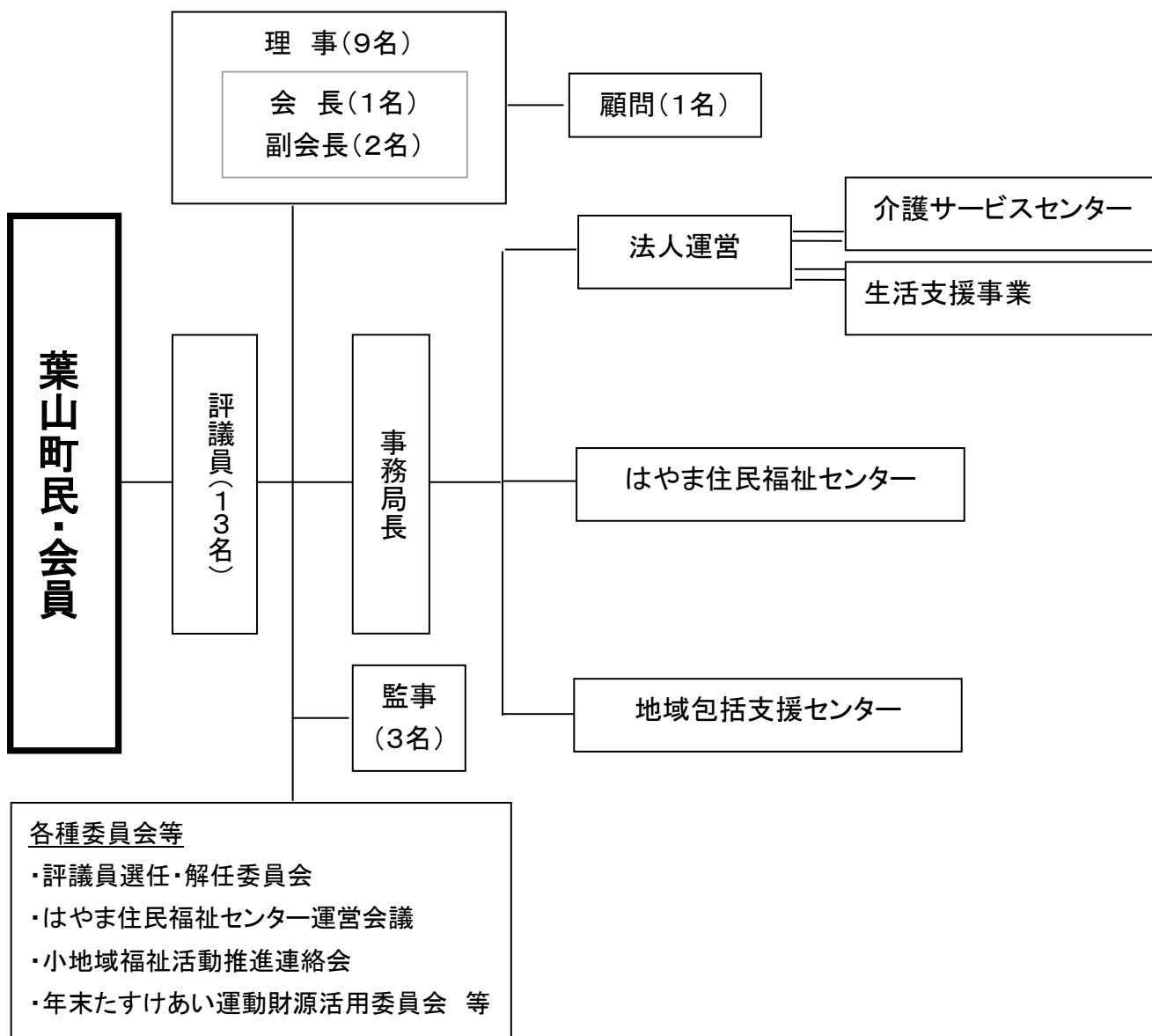
地域包括支援センター部門

- 担当エリア内のよりきめ細かな高齢者支援体制を築いていくとともに、葉山町地域包括支援センター清寿苑及び行政との情報の共有と連携、役割分担に努めます。
- 利用者の立場にたった介護予防事業に積極的に取り組みます。

介護サービスセンター部門

- 特定事業所として積極的に困難ケースを受け入れます。
- 利用者確保に努め収益増による安定的なセンター運営を目指します。

社会福祉法人 葉山町社会福祉協議会 組織図



収入見込額：188,032,000円

(単位：千円)

勘定科目	収入見込額	前年度 当初予算額	増減
一般会費収入	4,120	4,120	0
賛助会費収入	441	441	0
寄附金収入	400	400	0
社協補助金収入	60,293	59,149	1,144
あんしんセンター事業補助金収入	738	738	0
交通遺児補助金収入	150	150	0
支え合いのモデル事業助成金収入	100	0	100
一般募金配分金収入	2,500	2,598	-98
歳末たすけあい配分金収入	4,158	4,982	-824
生きがいミニデイサービス事業受託金収入	2,830	2,740	90
介護用品支給事業受託金収入	1,835	1,845	-10
コミュニティソーシャルワーク基礎研修受託金収入	115	115	0
体制整備事業受託金収入	16,731	16,510	221
生活福祉資金貸付事業受託金収入	2,006	2,006	0
日常生活自立支援事業受託金収入	3,317	3,317	0
償還金収入	197	197	0
参加費収入	106	96	10
利用料収入	1,352	1,352	0
広告料収入	40	40	0
居宅介護料収入	11,397	13,088	-1,691
居宅介護支援介護料収入	26,365	27,375	-1,010
介護予防支援介護料収入	3,940	3,078	862
介護予防・日常生活支援総合事業収入	7,584	7,634	-50
自立支援給付費収入	200	794	-594
地域包括支援センター事業受託金収入	24,500	24,500	0
受取利息配当金収入	618	724	-106
ともしび基金受取利息収入	1,924	1,074	850
V 活動振興基金受取利息収入	1	1	0
受入研修費収入	20	20	0
雑収入	115	115	0
V 活動振興基金積立資産取崩収入	500	500	0
拠点区分間・サービス区分間繰入金	8,321	7,476	845
前年度繰越金	1,118		1,118
収入合計	188,032	187,175	857

令和2年度は令和元年度対比+857千円となっております。

支出見込額：188,032,000円

(単位：千円)


サービス区分	セグメント a	支出見込額	前年度当初予算額	差額
法人運営	事務局運営事業	61,137	60,276	861
	役員会事業	1,519	960	559
	退職積立事業	7,973	8,504	-531
	広報啓発事業	2,129	2,040	89
基金運営	ともしび基金運営事業	2,069	1,074	995
	ボランティア活動振興基金運営事業	501	501	0
はやま 住民福祉 センター	総合相談事業	353	219	134
	福祉教育・人づくり事業	541	799	-258
	組織化事業	1,349	1,096	253
	生きがいミニデイサービス事業	2,830	2,740	90
	活動資金・物資の支援	5,407	4,907	500
	体制整備事業	16,731	16,510	221
	はやま住民福祉センター運営等事業	328	318	10
	在宅援護事業	63	482	-419
	介護用品支給事業	1,970	2,093	-123
生活支援事業	日常生活自立支援事業	5,242	4,683	559
	生活福祉資金貸付事業	2,406	2,006	400
介護保険 サービス	居宅介護支援事業	26,444	27,454	-1,010
	訪問介護事業	15,700	18,379	-2,679
障害サービス	居宅介護等事業	200	794	-594
ホームヘルプ	ホームヘルプサービス事業	1,340	1,340	0
地域包括支援	包括的支援事業	31,800	30,000	1,800
合計		188,032	187,175	857

令和2年度 社会福祉法人葉山町社会福祉協議会 事業計画書

事務局 電話：875-9889 平日8:30~17:15

法人運営

事務局運営事業		担当部門：法人運営（電話875-9889）	
		予算額：61,137,000円 （昨年度比：+861,000円）	
		町補助金 一般会費 前年度繰越金 サービス区分間繰入金 受取利息配当金 賛助会費 受入研修費	56,235,000円 1,978,000円 1,118,000円 885,000円 460,000円 441,000円 20,000円
事務局職員の人件費や事務所の運営経費等に使われます。職員の人件費は葉山町からの補助金、事務所の運営経費は、一般会費等により賄われます。			
事業名	実施時期	内容	
事務局運営	通年	事務局職員の人事管理や事務所の運営等を行います。事務局の営業は平日8:30~17:15となっております。	
一般・賛助会費の確保	一般 4月 賛助12月	積極的な広報・普及に努め、意志ある会費として、住民、団体、企業等の理解と協力を得るとともに、地域福祉の推進を図ることを目的とする各種事業に有効活用させていただきます。	
各種寄付金の受け入れ	随時	民間社会福祉事業の振興と地域福祉活動の増進、ボランティア活動の積極的な振興を図ることを目的に、各種寄付金を随時受け付けます。	
苦情解決第三者委員連絡会	3月	本会事業に関する町民、利用者等からの苦情に対して、適切な解決を図り、利用者等の権利を擁護するとともに、事業の質の向上及び運営の信頼性を高めることを目的に、第三者委員連絡会を開催します。	
実習生の受け入れ	8月~ 9月	福祉の人材育成を目的に、福祉の国家資格である社会福祉士取得を目指す実習生（学生）を受け入れます。 受け入れ予定者数:2人	

役員会事業	担当部門：法人運営（電話 875-9889）	
	予算額：1,519,000円 （昨年度比：+559,000円）	
	基金運営繰入金 町補助金 介護報酬収入	1,039,000円 360,000円 120,000円

法人運営に関する会議等を開催する事業です。役員等の費用弁償や会議費等に使われます。
 ※日程は変更する場合があります。

事業名	実施時期	内容
正副会長会議	随時	本会の運営・経営など法人運営全般における重要事項の協議の場として開催します。 5/22・12/1・2/16・3/12 全4回予定
理事会	随時	本会の業務執行機関として開催します。理事の構成は町内会・民生委員・行政・関係機関等から選出された9人です。 6/5・12/8・2/19・3/19 全4回予定
監事会	4半期ごと 年4回	本会の業務執行や財産などの状況の監査機関として開催します。監事の構成は、関係機関の財務経験者3人です。 5/26・8/25・11/17・2/16 全4回予定
評議員会	随時	本会の運営に関する重要事項の議決機関として開催します。評議員の構成は町内会、民生委員、福祉団体等13人です。 6/22・3/25 全2回予定
役職員等研修	1月頃	役員（理事・監事）等及び職員を対象に、地域福祉の推進に関する研修を行います。

退職積立事業


事業名	実施時期	内容
退職金の積立	—	全国社会福祉団体職員退職手当積立基金にて退職手当の積立金を運用します。

広報啓発事業	担当部門：法人運営（電話 875-9889）	
	予算額：2,129,000円 （昨年度比：+89,000円）	
	一般会費 広告料	2,089,000円 40,000円

町民の福祉に対する理解促進とボランティア・市民活動団体等の活動のさらなる活性化を目的に、広報啓発に関する事業を行います。

事業名	実施時期	内容
葉山町社会福祉協議会だより	5月・7月 9月・1月	本会が実施する事業や各関係団体の活動内容等を、町民や各関係団体等へ広く情報提供することを目的に、広報紙を発行します。
ホームページ等の管理	随時	本会の組織概要や事業計画、各種事業の説明などの情報を常時、幅広く提供することを目的に、ホームページ等を管理します。 ホームページ http://www.hayamashakyo.com/ ブログ http://hayamashakyo.blog.fc2.com/
社会福祉功労者表彰式	2月12日	社会福祉に功労のあった方や社会福祉活動に協力援助された方に対して、表彰及び感謝の意を表することを目的に、表彰式を開催します。 表彰予定者数：25人
葉山福祉まつりの協力	10月頃	福祉に対する理解促進とボランティア等の活動のさらなる活性化を目的に、一般住民、福祉関係団体、福祉施設等を参加対象として実行委員会が主催する福祉まつりに協力します。
社会を明るくする運動の協力	7月頃	犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的とした社会を明るくする運動に協力します。

基金運営


基金運営事業		担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
		予算額：2,570,000円 (昨年度比：+995,000円)	
		受取利息配当金 ボランティア活動振興基金 寄付金収入	1,925,000円 500,000円 145,000円
<p>個人・企業・団体・学校などから寄せられた寄附金を積み立て、その果実（預金利息など）や一部を利用して社会福祉協議会の事業に活用します。</p> <p>また、はやま住民福祉センターに指定寄付があった場合には、非常用持出袋等の購入や緊急一時支援事業等に活用させていただきます。</p>			
事業名	実施時期	内容	
ともしび基金運営	随時	個人・企業・団体・学校などから寄せられた寄附金を積み立て、その果実（預金利息など）を地域福祉活動の充実等に充当します。	
ボランティア活動振興基金運営	随時	個人・企業・団体・学校などから寄せられた寄附金を積み立て、その果実（預金利息など）を、ボランティア団体等への支援に充当します。	


<他団体の事務局運営>

事業名	実施時期	内容
神奈川県共同募金会葉山町支会	通年	共同募金運動（赤い羽根募金・年末たすけあい募金）の実施主体である神奈川県共同募金会の葉山町支会の事務局を担います。 赤い羽根募金：10月 年末たすけあい募金：12月
葉山町老人クラブ連合会	通年	概ね60歳以上の高齢者が仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、自身の生活と地域を豊かにする活動を目的とした老人クラブの事務を取り扱います。



はやま住民福祉センター


総合相談事業		担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
	予算額： 353,000円 (昨年度比：+134,000円)		
	共同募金（一般） 寄付金	352,000円 1,000円	
<p>住民のあらゆる生活相談・ボランティア活動等の総合相談窓口として、地域の福祉問題を発見することを目的に、住民活動をはじめ行政や事業所と連携しながら問題の解決を図ると共に事業等を実施します。</p>			
事業名	実施時期	内容	
地域福祉総合相談事業	通年	コミュニティソーシャルワーカーを配置し、地区担当制によりあらゆる生活相談や福祉活動に関する相談を受け、住民・行政・福祉関係事業者との連携のもと支援を行うとともに、住民活動の創設や改善を支援します。 生活相談：延300件、活動相談：延70件	
相談員研修事業	通年	地域福祉総合相談事業を担当する相談員のスキルアップを図ることを目的とした外部研修に参加します。	
ボランティア等登録事業	通年	小地域福祉活動やボランティア・NPO活動を実践する団体や個人を登録します。	
ボランティア保険取次	通年	本会の構成員や会員、登録団体・個人を対象に、全国社会福祉協議会ボランティア保険等への加入受付を行います。	
はやま市民活動ガイドブック	通年	葉山町における住民主体の活動情報について、活動の概要や活動場所、連絡先などの情報を隔年で1冊のガイドブックにまとめます。平成30年度に作成したガイドブックを増刷します。 発行部数 1,200部	
保健センターにおける子育て支援パネルの展示	通年	葉山町保健センター待合室に掲示板を設置して、情報が届きにくい子育て支援の住民活動の紹介用パネルを展示します。	
各種寄附金の受入れ	通年	民間社会福祉事業と地域福祉活動の振興を図ることを目的に、各種寄附金を受け付けます。 寄付受付見込件数10件 寄付見込額400,000円	

福祉教育・人づくり事業	担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
	予算額： 541,000円 (昨年度比：-258,000円)	
	共同募金（一般） コミュニティソーシャル ワーク基礎研修受託金 県社協補助金 参加費 共同募金（歳末）	176,000円 115,000円 100,000円 106,000円 44,000円


生きづらさを抱える人たちの理解促進と共に地域福祉の担い手の発掘と育成を行ないます。

事業名	実施時期	内容
コミュニティソーシャルワーク基礎研修(逗子市社協共催)(新規)	未定	地域共生社会づくりを原点としながら、様々な関係機関や住民活動の連携とさらなる住民参加の促進を図るため、多職種連携や住民の支え合い活動の促進を目的とした研修を実施します。 専門職向け 1回(20人) 住民向け 1回(20人)
地域支え合い学習会(コミュニティソーシャルワーク研修受託)	未定	地域福祉活動への住民参加のすそ野を広げることを目的に、逗子市社会福祉協議会と共催で福祉活動入門者向けの研修を行います。 6回 参加予定人数延120人
送迎ボランティア養成講座	未定	生活支援活動や家族介護を行う住民を主な対象に外出支援に関する研修を行い、送迎の担い手発掘と社会参加の促進を目的に開催します。 参加予定人数30人
手話奉仕員養成講座(入門課程)	4~8月	聞こえないことや聴覚障害者の暮らし及び関連する福祉制度についての理解と認識を深め、視覚的なものの捉え方や手話での伝達技術の基本を身につけることを目標とし、手話奉仕員の育成を目的に、逗子市社会福祉協議会と共催で開催します。 参加予定人数25人
点訳ボランティア養成講座(中級編)	9~11月	点訳ボランティア活動を希望する町民を対象に、基本的な点訳技術の習得及び点訳ボランティアの人材育成を目的に開催します。 参加予定人数20人
夏休み福祉活動体験学習	7月~8月 4日間	思いやりのある心を育て、福祉への関心を高めるため、町内在住・在学の中・高校生を対象に町内福祉施設等で体験学習を行います。 10施設 参加予定人数70人

【廃止】 小地域福祉活動入門講座

組織化事業		担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
		予算額：1,349,000円 (昨年度比：+253,000円)	
		共同募金（一般） 共同募金（歳末）	755,000円 594,000円
<p>小地域福祉活動推進組織、NPO、ボランティア、当事者活動の組織づくりとともに、既存の組織との協働や財政的支援を実施します。また、災害ボランティアセンターの設置運営に関する平常時の活動を行います。</p>			
事業名	実施時期	内容	
小地域福祉活動推進組織 設置・運営支援事業	通年	<p>小地域福祉活動推進組織の設置支援及び推進組織の会議等へコミュニティソーシャルワーカーを派遣して事業の企画・立案・実施等に関する支援や研修会の企画立案を支援します。</p> <p>8地区、コミュニティソーシャルワーカー4人</p>	
小地域福祉活動推進組織 助成事業	通年	<p>小地域福祉活動推進組織の設立準備及び継続活動に係る事務費並びに事業費を助成します。</p> <p>補助額100,000円以内、6団体</p>	
ふれあいいきいきサロン 助成事業	通年	<p>生活の孤立を防ぐことを目的に、町内会館や個人宅等を利用し、地域住民が実施する出会いや仲間作りの場作りの活動を行う団体に対して、相談助言と助成金の交付を行います。</p> <p>継続16ヶ所、新規2ヶ所</p>	
子ども会設置支援事業	通年	<p>子ども会の新設・復活の活動を支援するため、活動資金の支援及び活動に関する相談、地域の諸団体との連携調整を行います。</p> <p>1団体 30,000円以内</p>	
災害ボランティアセンター 運営事業	①通年 ②10月	<p>①災害ボランティアセンター連携会議 3回 災害ボランティアセンターに関係する団体との情報交換と顔の見える関係づくりを目的に開催します。</p> <p>②葉山災害ボランティアセンター設置運営訓練 1回(10月) 有事の際、災害対策本部の要請に基づき設置される葉山災害ボランティアセンターが安定的な運営ができるよう災害ボランティアコーディネーターの育成と葉山災害ボランティアセンターの機能について検証することを目的に実地訓練を行います。ビッグレスキュー2020が葉山町で開催されるため、その中で実施します。</p>	

【廃止】 失語症カフェ設置運営事業


葉山町生きがいミニデイサービス事業	担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
	予算額： 2,830,000円 (昨年度比：+90,000円)	
	町委託金	2,830,000円


高齢者の介護・孤立の予防、生きがいづくりを目的とする、生きがいミニデイサービス事業を実施する団体へ業務を委託するとともに立ち上げの支援や運営の支援を行います。

事業名	実施時期	内容
葉山町生きがいミニデイサービス事業	①通年 ②3月 ③6-7月	住民主体で実施する生きがいミニデイサービス事業実施団体へ業務を委託するとともに傷害保険及び賠償責任保険への一括加入、連絡会や研修の開催を通じて活動を支援します。 ① 生きがいミニデイサービス事業委託 委託見込:21団体 述実施回数:410回 述べ参加人数:9,100人 (内、要支援～要介護2=120人、要介護以上=50) ② 生きがいミニデイサービス実施団体等連絡会 実施回数 1回、参加予定団体数 15団体 ③ 食品衛生講習会 実施回数 1回、参加予定団体 15団体

活動資金・物資の支援	担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
	予算額： 5,407,000円 (昨年度比：+500,000円)	
	共同募金（歳末） 共同募金（一般） 寄付金 雑収入	3,480,000円 751,000円 234,000円 115,000円
住民主体の福祉活動を促進するため、資機材や活動資金の提供を行います。		


事業名	実施時期	内容
みまもりあんしん袋訪問事業	6月、12月	葉山町災害時要援護者ネットワークづくり事業登録者等の生活の孤立を防ぎ、日常の見守りや助け合いを促進することを目的に、小地域福祉活動推進組織等へ防災用品を配布します。 予定対象者数: 200人(新規)、1,000人(継続)、担い手数430人
年末たすけあい運動助成事業	①通年 ②4月～ ③8月～ ④4月～ ⑤4月～	年末たすけあい運動の募金を活用し、住民同士の助けあいの活動に対する助成を行います。 ①年末たすけあい運動財源活用委員会: 7回 ②小規模助成: 総額800,000円(20団体程度) ③一般助成: 総額2,000,000円(5団体程度) ④小地域支えあい助成: 総額400,000円(6団体程度) ⑤災害ボランティアセンター助成: 総額100,000円(1団体)
ボランティア室の貸出	通年	住民の地域福祉活動の支援を目的に、はやま住民福祉センターに登録する団体を主な対象としてボランティア室等を貸し出します。
地域福祉活動機材等の貸出	通年	住民の地域福祉活動の支援を目的に、はやま住民福祉センターに登録する団体を主な対象として、活動機材等を貸し出します。
拠点整備助成事業	通年	小地域福祉活動推進組織等の専用の拠点を確保するために必要な建物の増改築や備品購入のための費用を助成します。 助成予定: 1個所 助成予定額: 500,000円

生活支援体制整備事業	担当部門: はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
	予算額: 16,731,000円 (昨年度比: +221,000円)	
	町委託金	16,731,000円
<p>生活支援コーディネーターを配置し、第1層協議体との連携のもと介護保険「生活支援体制整備事業」第2層協議体の設置運営を行い、小地域において、広く生活関連分野の関係者のネットワークを構築するとともに、地域の福祉課題解決のため、住民主体の取り組みを支援します。</p> <p>①生活支援コーディネーター4名(常勤1名、非常勤3名) ②第2層協議体(支え合い推進会議)の開催8地区 ③生活支援コーディネーター研修 ④生活支援体制整備事業連絡会4回 ⑤先進地視察3地区 ⑥第1層協議体への参加</p>		

はやま住民福祉センター運営等事業	担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
	予算額：328,000円 (昨年度比：+10,000円)	
	共同募金（一般）	328,000円


住民等地域福祉関係者の参画を得ながら、はやま住民福祉センターの事業の企画立案及び評価をはじめ、住民主体の地域福祉推進に関する合意形成を図ります。

事業名	実施時期	内容
はやま住民福祉センター運営会議	通年	はやま住民福祉センターの適正な運営を図ることを目的に開催します。 運営会議：2回 小地域福祉活動検討部会：4回 ミニデイサロン見学会：2回 委員研修会：1回
地域福祉活動計画進行管理事業	通年	葉山町地域福祉推進プランの合同事務局会議の開催と進行管理委員会の設置運営を行います。 策定委員会開催回数：2回
小地域福祉活動推進連絡会	通年	小地域福祉活動推進組織関係者の情報交換、時代を担うリーダー育成、インフォーマル会議との連携強化のため事業の共同企画や情報交換等の会議を実施します。 開催回数：2回


在宅援護事業	担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
	予算額：63,000円 (昨年度比：-419,000円)	
	共同募金（歳末） 寄付金 共同募金（一般）	40,000円 20,000円 3,000円


在宅生活を営むうえで支障のある家庭に対して、資金の貸付や給付、現物給付等を行い、その世帯の自立支援を促す事業等を実施します。

事業名	実施時期	内容
法外援護事業	通年	町内に居住していない所持金のない方を対象に、1,500円を上限とした交通費や食事代等を支給します。 支給予定件数：2件
緊急一時支援事業	通年	低所得や介入困難など生活に困窮する方を対象に、緊急かつ一時的に必要な食事や家事支援等について原則現物による支給を行います。 支給予定者数：①食料等3人、②業務委託1人、③医療費等1人
日常生活用具の貸与	通年	車椅子などの生活用具の一時的利用や使用・操作方法等を習得しようとする方などを対象として、車椅子などの生活用具を無料（期限有り）で貸出します。 延貸出件数（見込み）：70件

介護用品支給事業	担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
	予算額：1,970,000円 (昨年度比：-123,000円)	
	町委託金 共同募金（一般）	1,835,000円 135,000円
在宅介護における介護者への支援を目的に、要介護3～5および重度障害児者で常時排せつ用具を使用する方を対象にして、紙おむつ等の介護用品を宅配支給します。 実施時期：2カ月に1回 利用予定人数：165人		

生活支援事業

日常生活自立支援事業 (葉山あんしんセンター)	担当部門：法人運営（電話 875-9889）	
	予算額：5,242,000円 (昨年度比：+559,000円)	
	県社協委託金 サービス区分間繰入金 町補助金 利用料	3,317,000円 1,175,000円 738,000円 12,000円
地域で安心した生活が送れるよう、判断能力が不十分な認知症高齢者や障害者等を対象にした福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理サービスを行います。 利用者数：福祉サービス利用援助／30人（内新規：7人）、金銭管理サービス／25人（内新規：7人）、書類等預かりサービス／4人（内新規：2人）、権利擁護専門相談／5人		

生活福祉資金貸付事業等		担当部門：法人運営（電話 875-9889）
		予算額：2,406,000円 (昨年度比：+400,000円)
		県社協委託金 償還金 県社協補助金 一般会費
事業名	実施時期	内容
生活福祉資金貸付事業	通年	神奈川県社会福祉協議会から業務の一部を受託し、低所得世帯、障害者又は高齢者の世帯などの経済的自立と安定した生活に向けた支援を目的に、一時的に必要な資金の貸付と相談支援を行います。予算は事務費等に使われ、貸付金は神奈川県社会福祉協議会より執行されます。 既貸付件数：15件 新規貸付件数（見込み）：3件
たすけあい資金貸付事業	通年	一時的に生活に困窮している世帯の経済的自立と生活意欲の向上を目的に、一時的に必要な資金の貸付と相談支援を行います。 既貸付件数：6件 新規見込貸付件数：5件
交通遺児援護事業	通年	交通遺児とその世帯を対象に、神奈川県社会福祉協議会が行う交通遺児援護事業への申請手続きや激励金・見舞金支給の支援を行います。 激励金：1人、見舞金：1人

介護サービスセンター 電話：877-1031 8:00~18:00 日曜休
 事務所：葉山町一色1437-3 ハビテーション葉山013


介護サービスセンター

◆介護保険サービス事業


居宅介護支援事業(介護保険事業)	担当部門：介護サービスセンター (電話877-1031)	
	予算額：26,444,000円 (昨年度比：-1,010,000円)	
	介護保険収入 受取利息配当金	26,365,000円 79,000円
住み慣れた地域での在宅生活を支援することを目的に、要介護等の認定を受けた方を対象として、認定を受けた方の心身の状況とご本人やご家族の希望をふまえ「居宅サービス計画(ケアプラン)」を作成します。(実施時期：通年) 作成予定件数：要介護 1,600件・要支援 200件		

訪問介護事業(介護保険事業)	担当部門：介護サービスセンター (電話877-1031)	
	予算額：15,700,000円 (昨年度比：-2,679,000円)	
	介護保険収入 利用者負担金 受取利息配当金	13,350,000円 2,271,000円 79,000円
住み慣れた地域での在宅生活を支援することを目的に、要介護、要支援の認定を受けた方を対象に、身体介護や生活援助等のヘルパー援助を行います。(実施時期：通年) 延訪問予定回数：要介護 3,500回・要支援 1,600回		


◆障害者総合支援サービス事業

<p>居宅介護等事業</p>	<p>担当部門：介護サービスセンター (電話 877-1031)</p>	
	<p>予算額： 200,000円 (昨年度比：-594,000円)</p>	
	<p>障害福祉サービス等収入</p>	<p>200,000円</p>
<p>住み慣れた地域での在宅生活を支援することを目的に、支給決定を受けた障害（児）者を対象に障害者総合支援法（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）に基づく身体介護や生活援助等のヘルパー援助を行います。（実施時期：通年） 延訪問予定回数：60回</p>		

◆ホームヘルプサービス事業

<p>ホームヘルプサービス事業（自費型）</p>	<p>担当部門：介護サービスセンター (電話 877-1031)</p>	
	<p>予算額： 1,340,000円 (昨年度比： ±0円)</p>	
	<p>利用料収入</p>	<p>1,340,000円</p>
<p>介護保険制度や障害者総合支援法におけるヘルパーの援助では対応できない制度の狭間にある方をサポートすることを目的に、一人暮らしや高齢者世帯、母子父子世帯を対象にした通院等の外出介助や生活援助等のヘルパー援助を行います。（実施時期：通年） 延利用者数：140人</p>		



<p>葉山町地域包括支援センター</p>	<p>担当部門：地域包括支援センター (電話877-5324)</p>	
	<p>予算額：31,800,000円 (昨年度比：+1,800,000円)</p>	
	<p>町委託金 介護予防支援収入 総合事業収入</p>	<p>24,500,000円 3,940,000円 3,360,000円</p>
<p>堀内・長柄地区の高齢者が要介護状態等となることを予防するとともに、要介護状態等となった場合にも可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援します。</p> <p>(実施時期：通年)</p>		

◆介護予防ケアマネジメント事業

事業名	実施時期	内容
<p>事業対象高齢者の調査と評価</p>	<p>9月～ 12月予定</p>	<p>介護保険が非該当の高齢者と事業対象者で介護保険サービスの利用がない対象者に、町主催の体操教室に参加を呼び掛け、生活状況等の調査と参加結果の評価を行います。</p> <p>参加予定者数：体操教室15人</p>
<p>一般高齢者体操教室 「ごりっぱ」「おたっしゃ」</p>	<p>ごりっぱ 月2回 おたっしゃ 月1回</p>	<p>要介護・要支援認定を受けていない65歳以上の高齢者が椅子に座ったままできる運動や仲間との交流を楽しめる体操教室を開催します。</p> <p>費用：無料 ごりっぱ2コース おたっしゃ1コース</p> <p>参加予定者数：ごりっぱ30人・おたっしゃ15人</p>
<p>健康だよりの発行</p>	<p>月1回</p>	<p>高齢者に気をつけてほしい病気や介護予防に関する情報および葉山警察と協力して詐欺予防の普及啓発を目的に「ほうかつ健康だより」を定期的に発行します。</p> <p>発行予定部数：150部×12回</p>

【廃止】一般施策通所介護利用者介護予防プランの作成

◆総合相談・支援事業

事業名	実施時期	内容
地域踏査と連携強化 ニーズとニーズを結びつける活動	年4回	定期的に地域踏査し、地域の方々の話に耳を傾け、地域にあるニーズを把握し、そのニーズを関係機関と連携し、協働して解決する仕組みづくりを行います。
出張教室	通年	高齢者に関する情報や介護保険制度等の説明、健康に関する情報・出張体操教室・終末期に向けての心構えなど、ご要望に合わせたプログラムを作成し、地域に出向きます。 出張予定:30教室
認知症支援事業	月1回	認知症への理解を深め、介護者への支援とやさしい地域づくりのため認知症カフェを開催します。また、近隣市町村とのネットワークづくりを行っていきます。
出張相談室	月1回	来所相談しづらい地域からの要望により、高齢者の福祉や介護に関しての出張相談を実施します。 出張予定:1か所
認知機能低下予防活動	通年	高齢者が認知機能低下予防活動に積極的に取り組む動機づけを目的とする軽度認知障害スクリーニングテストを行います。

◆権利擁護事業

事業名	実施時期	内容
権利侵害の予防と周知	通年	権利侵害を受けているまたは受ける可能性が高いと考えられる高齢者が、地域で安心して尊厳のある生活を営むことができるよう、警察や関係機関等に地域包括支援センターを周知し、連携の強化を行ない、権利侵害の予防や対応を専門的に実施します。

◆包括的・継続的マネジメント支援事業

事業名	実施時期	内容
事例検討会議	通年	ケアマネジャーや関係機関等と処遇困難ケースや成功事例等を共有し、スキルアップを図ることを目的に必要に応じて随時、事例検討会議を開催します。
地域ケア会議	年3回	多職種協働による「地域包括支援ネットワーク」を通じて、高齢者個人に対する支援の充実を図るとともに、それを支える社会的基盤の整備を推進し、「地域包括ケアシステム」を実現させるため行政と連携して会議を行います。

地域包括支援センター交流会	年3回	葉山町内の介護保険事業者や関係機関等の顔の見える関係づくりの一環として定期的に交流会を開催し、ネットワークの構築を目的に交流会を開催します。
ケアマネジャーの個別相談	通年	地域のケアマネジャーが抱える処遇困難な個別ケース等について情報を共有し、課題の解決をするための支援を行います。
居宅介護支援事業所巡回相談	年1回 秋頃	ケアプランの作成状況の確認や情報提供、会議等の企画など地域のケアマネジャーに寄り添った支援ができるよう葉山町内の居宅介護支援事業所を巡回訪問します。
地域包括支援センター通信	年3回	ケアマネジャーや介護保険事業者を対象に、介護保険制度の最新情報や詐欺等の生活情報など、メールを配信します。
Z-ケアネット幹事会および定例会の参加	月1回	逗葉地区の介護保険事業所連絡会（Z-ケアネット）の幹事会に、オブザーバーとして参加し、定例会の企画に協力し行政とのパイプ役としての情報提供等を行います。
医療との連携システム構築のための勉強会（新規）	年3回	ケアマネジャーが医療関係者との連携の回り方やスキルアップのための勉強会を福祉課や医療関係者と共催で実施します。

◆介護予防支援事業

事業名	実施時期	内容
介護予防支援	通年	介護保険制度において要支援1・2の認定を受けた在宅高齢者に対して介護予防プランを作成し、在宅生活の相談やサービス提供事業者等と連絡調整をするなど、必要な便宜を図ります。 作成予定者数：直営130人・委託30人

◆要介護認定調査事業

事業名	実施時期	内容
要介護認定調査	通年	介護保険制度の更新認定を受ける方に対して、葉山町と連携して要介護認定調査を実施し、ケースを把握したうえでケアマネジャーと情報を共有し、後方支援を行います。 調査予定者数：30人